



入会を検討しているみなさまへ

■入会資格

条件などは特にありません。協会の活動に賛同いただける方は、どなたでも入会していただけます。

■ 会員種別・入会金及び年会費

大きく分けて法人会員と個人会員があります。種別の違い等詳細は事務局へお問い合わせください。

◇ 法人会員

特別法人会員（年会費 240,000 円入会金 50,000 円）
法人・団体会員 A（年会費 120,000 円入会金 50,000 円）
法人・団体会員 B（年会費 60,000 円入会金 50,000 円）
公益・公共団体会員（年会費免除）

◇ 個人会員

個人会員（年会費 6,000 円入会金 2,000 円）
学生会員（年会費 3,000 円入会金 1,000 円）
※10 月以降に入会されますと年会費は半額になります。

■ 入会方法

入会を希望される方は、事務局までご連絡ください。
入会申込書をお送りしますので必要事項をご記入の上、お申込みください。また、入会申込書は下記 QR コードからもダウンロードできます。

■ 会員特典

- ◇ 年 4 回のトイレ協会ニュースの送付
- ◇ HP 会員ページコンテンツの利用
- ◇ 当協会主催の全国トイレシンポジウムのご案内
- ◇ 会員交流会への参加
- ◇ 研究会への参加（研究会によっては別途会費が必要です）
- ◇ そのほかトイレに関する情報提供

ちょっとだけうれしい入会メリット

トイレに詳しい専門家と親しく話が出来る。
トイレが好きなお友達と話が盛り上がる。
いつの間にか、どこでもトイレが気になる。
理想のトイレについて考えてみたくなる。
マナーをきちんと守りたくなる。
トイレの使い勝手を考えてみたくなる日がくる。



役員・運営委員会

代表理事・会長	小林 純子	(有)設計事務所 Gondra 代表
理事・副会長	赤堀 時夫 川内 美彦 山本 耕平	元一般財団法人自然公園財団 事務局長 アクセシビリティ研究所 所長、アクセスコンサルタント (株)ダイナックス都市環境研究所 代表取締役会長
運営委員	浅井 佐知子 足立 寛一 天池 洋一 石井 寿一 上野 義雪 小松 義典 白倉 正子 高橋 未樹子 竹中 晴美 谷本 亘 永島 史朗 中野 洋一	(有)設計事務所 Gondra (株)エクセルシア 代表取締役 一般社団法人日本レストルーム工業会 専務理事 株式会社ハマネツ 営業企画部市場開発グループ 上野研究室 所長 名古屋工業大学大学院ながれ領域 准教授 アントイレプランナー 代表 コマネー株式会社 研究開発本部 研究開発課 課長 オフィス・タック 代表 日野興業株式会社 営業企画部 部長 TOTO 株式会社 渉外 担当課長 日本カルミック株式会社 事業推進本部 総合プロダクトマネージャー LIXIL Water Technology Japan トイレ空間事業部 トイレ空間商品部パブリック商品担当 トーションファシリティーズ株式会社 代表取締役専務 株式会社総合サービス 代表取締役社長 NPO 法人にいまいる 常盤短期大学 准教授、アクトウェア研究所 所長 総合トイレ学 研究者 無臭元工業株式会社 営業本部長 株式会社アメニティ 代表取締役社長 中日本高速道路株式会社 東京支社
幹事	松田 芳夫	一般社団法人全日本建設技術協会 技術顧問
名誉会長	高橋 志保彦	日本トイレ協会 前会長、神奈川大学 名誉教授 高橋建築都市デザイン事務所 所長
名誉理事	鎌田 元康	日本トイレ協会 前副会長、東京大学 名誉教授



Information



トイレ学大事典

日本トイレ協会 編 柏書房刊

多機能トイレの開発・普及で世界をリードしてきた日本。生活の理想が意外なほどに色濃く反映されているトイレめぐって、文化史から環境学まで多角的な視座からトイレを徹底解剖する、初のトイレ総合事典。



一般社団法人 日本トイレ協会
Japan Toilet Association

公式ホームページ：<https://j-toilet.com/>

E-Mail：info@j-toilet.com

Tel：03-5844-6123

〒112-0003 東京都文京区春日 1-5-3 春日タウンホーム 1F-A



■ 問い合わせ先

一般社団法人日本トイレ協会事務局

E-mail: info@j-toilet.com



美しい日本、爽やかトイレ



一般社団法人

日本トイレ協会

Japan Toilet Association



日本トイレ協会会長あいさつ



会長 小林純子

このほど第4代目会長に選出されました小林純子です。日本トイレ協会では、前会長の下で、副会長と運営委員を長年務めさせていただきました。当会は今年で創立35年です。4Kと言われた我が国の公共トイレを変えてきた元祖と言って過言ではありません。当会はトイレを通じた、研究者、建築家、景観デザイナー、ユニバーサルデザイン関係者、省庁や自治体等の職員、機

器メーカー、公共交通職員、仮設トイレメーカー、メンテナンス、学生、一般市民等々様々な立場の方々の集まりです。ここの面白さは何と云っても、多岐にわたる会員との交流です。例えば私は建築設計を生業としていますが、ある課題があったとして、単分野のみでの考察での解決ではなく、多くの幅広い分野の方々の議論の中で深めることが、真に人々に必要とされる形に生み出されていくことを学びました。また、トイレの問題には国境がなく、今の足元の課題解決が他の国にも共感が得られることにも気づきました。ここでの様々な方との出会いは、私の仕事の幅や思考を大きく変えてくれました。もうそろそろ、私にできることで恩返しする時期だとの思いがあり、お引き受けすることにいたしました。

- 全国トイレシンポジウムの開催（毎年11月頃）
11月10日を「トイレの日」の日と定め、毎年11月に「全国トイレシンポジウム」を開催
 - 基調講演・報告・パネルディスカッション 等
 - 概要集の発刊
 - 企業・団体紹介ブースの展示 等



- グッドトイレ選奨の実施
みんなが気持ちよくトイレを使うための環境整備や活動を称え、表彰



- 公式ホームページの運営
- その他、協会の活動趣旨に即した活動



日本トイレ協会では、時代の変化に応じてより具体的な議論を行い、さまざまな活動をしてきました。トイレに関する文化の向上と快適なトイレ環境作りを目指し、これからも取り組んでいきます。



研究会の活動



日本トイレ協会には、特化したテーマ毎により専門的な「研究会」があります。各研究会では、講師を招いた定例会や出版物の発行などの活動を行っています。日本トイレ協会公式HPでも研究会の紹介をしています。ご興味のある方は、各研究会HPのリンクがありますのでそちらをご覧ください。



研究会

01 メンテナンス研究会

1992年に発足。ハード／ソフトの両面からトイレのメンテナンス（維持管理）に関する技術の多角的向上を図るとともに、社会一般の「日頃、目にすることのないトイレメンテナンス」への理解を深めるための調査・研究・提言を積極的に展開しています。定例会の開催は188回を超えました。これからも時代の変化に合わせて研究を続ける所存です。



02 ノーマライゼーション研究会

1997年発足。人が自立して暮らす上で大きなウエイトを占めるトイレを軸にしながら、障害のある人や高齢の人のみならず、様々な人々を対象に、社会生活を営む上で不可欠なトイレのあり方、みんなが安心して使えるトイレはどうあるべきかについて考える活動をしています。



03 災害・仮設トイレ研究会

2019年11月に発足。災害時のトイレ事情の改善を目指して様々な活動を行っています。災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）の備蓄を推進するための情報発信やアンケート調査、発災時に災害用トイレや関連商品の出荷が円滑に行われるための調査・研究、仮設トイレの質の向上を図るための調査、研究などを行っています。



04 トイレ文化研究会

トイレにまつわる様々な文化を考察し、講演会や見学会、調査分析等の研究活動を行っています。また、若手会員がトイレについて自由に語り合える場として若手の会 flush を定期的に開催しています。



主な活動

- 会員総会（毎年5～6月頃）
- 協会ニュースの発行（会員にのみ郵送 / 年4～5回）



- セミナー・講演の企画、運営
- 展示館、イベント等への出展
- 研究会の開催
- 日本のトイレ文化の世界への発信
- トイレに関する書籍の出版
- 企画、調査、研究、マスコミ対応等

